

# 「高校生作文コンテスト」優秀賞受賞

2017  
December  
26

12月25日(月)宮崎日日新聞掲載

公益社団法人三州倶楽部創立100周年記念「高校生作文コンテスト」において、本校文理科1年生の吉丸日葉さん(西米良中出身)が優秀賞を受賞しました。

三州倶楽部は、1918年(大正7年)に創設された三州(薩摩、大隅、日向)の出身者、及びその縁故者でつくる社団法人。創立100周年という節目を記念して次代を担う高校生に「作文を書く」ことで自身の将来・郷土・社会に対して考え、表現し、行動することを奨励しています。

西米良村出身の吉丸さんは「10年後の郷土・私の役割」をテーマに将来の目標である“地元で医療に従事する”という思いを作文につづりました。目標達成に向け、一層の努力・活躍を期待しています。

## 地域統合

首都圏の本県、鹿児島県出身者でつくる三州倶楽部(本田勝彦会長)が創立100周年を記念して実施した高校生作文コンテストで、宮崎市・宮

崎第一高1年の吉丸日葉さん(15)と、都城市・都城泉ヶ丘高2年の高橋英里さん(16)が、最優秀賞に次ぐ優秀賞に選ばれた。2人には賞状と奨学金10万円が贈られる。

### 吉丸さん(宮崎第一)、高橋さん(都城泉ヶ丘) 高校生作文コン優秀賞 夢や郷土 思いつづる



高橋英里さん 吉丸日葉さん

同コンテストは自分の将来や郷土のあるべき姿を考える機会を提供し、人材育成につながるよう企画。両県の高校、高専、特別支援学校高等部に通う生徒(高専は1〜3年)を対象に「10年後の郷土・私の役割」「私の夢」「尊敬する郷土の先達」の三つの

テーマで募った。21校から1482点の応募があり、最優秀賞1人、優秀賞5人、佳作49人が選ばれた。

西米良村出身の吉丸さんは「10年後の郷土・私の役割」をテーマに、高校進学を機に郷土を離れたことで古里の良さを再確認でき、将来は村民への恩返しのために診療所が一つしかない地元で医療に従事したいとつづった。

「都会への憧れもあったが、村の人みんなに育ててもらった恩を感じる。今は古里のために働きたいという思いが強くなった。受賞を励みに目標達成のため勉強を頑張りたい」と前を見据えている。

酪農を営んでいた祖父らの影響で動物好きに育った高橋さんは「私の夢」をテーマに選んだ。2010年に口蹄疫で祖父の近所の酪農家らが被害に遭ったことを知り、牛を殺さざるを得なかった状況を幼いながらに理解し「殺処分を減らしたい」と決意。獣医師を目指す夢を原稿用紙に記した。

優秀賞を受け「古里を守りたい」との思いが評価され、うれしい。今はドッグブリーダーにも関心を持っている。将来は動物に関する仕事に就き、殺処分を減らす社会をつくりたい」と語っていた。

(中村和彦、野村有未)

新聞掲載

宮崎日日新聞(12月25日掲載)